

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 時代作成日: 平成 30 年 5 月 1 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、会議の内容が、ホームからの報告が主になっている。新しい参加委員を募り、会議の内容や議題を再検討して、サービスの向上に繋げていく。	参加委員を増員し、地域で活動している有識者、知見者等の参加を募り、避難訓練やレクレーション、試食会等の体験やミニ勉強会等、ホームの繁栄だけでなく、参加委員にとっても知識や情報を得る有意義な会議となるよう検討していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と若手の職員では、介護に対する考えや経験に差があるため、同じレベルの介護サービスが提供できるように工夫し、誰がサービスを提供しても、利用者の喜びに繋がる取り組みを実践していく。	職員の経験や意欲に合わせて、外部の研修会に参加してもらい、介護の知識や技術を磨き、職員一人ひとりの意識の高揚に結びつける取り組みを実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。